

個人質問

議会事務局 処理欄	令和5年8月16日 15時02分 受付
	質問順位 第8番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 櫻井 雅美

一般質問の通告について

令和5年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1.義務教育における保護者負担について	<p>【趣旨説明】</p> <p>「隠れ教育費」という書籍が出版されるほど、公立の小中学校では強制的な保護者負担は大きい状態です。保護者負担であるがゆえに公費であれば入札を行うはずのものも、学校が業者を選定し、購入先を決定しています。</p> <p>学校の管理運営や教育活動に必要な経費については、原則、設置者である自治体が負担すべきであり、安易にPTA等に負担を求めることは適切でなく、保護者負担の軽減の観点からも、公費と私費の負担区分を明確にした上で、適切な会計処理を行うことが大切です。</p> <p>またタブレットドリルなどデジタル教材の導入については費用対効果や普及状況が明示されず、保護者の不安材料となっている。</p> <p>そこで以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校指定購入品・購入先の選定はどのようにされているか。 ② 購入先は定期的に変更しているのか。 ③ 学校徴収金について、説明をしたうえで保護者の同意を得られているのか。 ④ 学校教育活動に必要であり適正な経費であることは、点検・監査されているのか。 ⑤ 学校徴収金の未納者は。また、未納者に対する対応は。 ⑥ タブレットドリルを含む、デジタル教材の導入の進捗状況は。また、今後進めるにあたって、経費は保護者負担となるのか。

<p>2. 障がい児の保育・教育について</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>こども家庭庁では障がい児政策として「障害児の健やかな育成を支援するため、障害児及びその家族に対し、乳幼児期から学校卒業まで一貫した効果的な支援を身近な場所で提供する体制を構築することが重要です。」と明言しています。また、厚生労働省の少子化対策推進基本方針においては「仕事と子育ての両立の負担感や子育ての負担感を緩和・除去し、安心して子育てができるような様々な環境整備を進め、家庭や子育てに夢や希望を持つことができる社会にしようとするもの」。本町では、障がい児をもつ家庭はこの方針から排除されているように感じています。</p> <p>令和5年度武豊町青少年健全育成推進町民大会・第73回武豊町社会を明るくする運動推進大会においては、「かんしゃくやパニックが抑えられない子どもたち～感情爆発を繰り返す子どもたちへの支援と対応～」と題し、三重大学教育学部副学部長である松浦 直己さんの講演がありました。</p> <p>後日、障がい児をもつ保護者との話し合いの場で、本町の子育て支援に対してたくさんの意見を伺う中で、障がい児をもつ家庭こそ、理解のある環境の中で安心して過ごすことができ、それが生まれた地域であり、生涯にわたって保証されることが必要だと確信しました。</p> <p>そこで以下質問します。</p>
	<p>【質問事項】</p> <p>① 保育園で預かることのできる障がい児の入所基準は。</p> <p>② 長期にわたる深刻な保育士不足に対して、保育園の民営化についての見解は。</p> <p>③ 小学校での支援学級について、教員は児童生徒・保護者に対してどのように説明しているのか。</p> <p>④ 放課後等デイサービスについて現在、保護者の需要に対して供給はできているのか。</p> <p>⑤ 障がい児の家庭の就労に対しての支援は。</p> <p>⑥ みみたファイルの活用は教職員・保護者に対してどのように説明しているのか。</p> <p>⑦ 教職員、保育士による不適切な行動や発言についてはどのように指導しているのか。</p>